

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI



吉敷の木
「もみじ」

吉敷の花木
「うめ」

吉敷の草花
「マリーゴールド」

吉敷の草花
「サルビア」

2020

6

No. 771



コロナに負けるな!
地域住民によるもみじ学級での子どもたちの居場所づくり



凌雲寺跡あっちですよ〜
看板が設置されました



行ってみよう凌雲寺跡
国の史跡に指定されています

CONTENTS

【トピックス●】

総会・代議員会の議案を書面
表決により可決しました... 2

【トピックス◎】

コミュニティタクシーの導入の
アンケート調査を実施しました... 5

インフォメーション... 6

レポート... 7

今月の吉敷人... 7

リレーエッセイ... 7

イベントカレンダー... 8

かけはし... 8

YOSHIKI
DATA

【人口】14,664(前月比 -9) 【世帯数】6,315(前月比 +10)

令和2年5月1日現在

よしき人





総会・代議員会の議案を 書面表決により可決しました

今年度の地域づくり協議会総会、自治会、地区社会福祉協議会代議員会は新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、議案を書面により決議しました。会議資料は、地域づくり協議会ウェブサイトに掲載するとともに、事務局に閲覧用を備え付けています。

吉敷まちづくり計画の スローガンと活動目標

吉敷地域のまちづくりを推進するために策定した吉敷まちづくり計画では、住民の皆さんに地域活動に積極的に参加していただくため、スローガンとして「みんなで支え合う笑顔あふれるふれあいのまち吉敷」を策定し、活動目標を「地域振興」「地域福祉」「安心・安全」「地域個性創出」としています。それぞれに将来像を定め、地域ぐるみで取り組んでいくことにしています。

3団体が一体となって進める

吉敷の地域づくり・まちづくり

地域課題の解決に取り組むため「地域づくり協議会」を設置しています。自治会と地区社協から地域づくり協議会へ財源を集め、3団体が一体となった運営に努めています。

令和2年度 吉敷自治会事業計画・予算

〈収入の部〉

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
会費	2,880,000	会費600円×4,800戸
助成金		
道路維持活動	719,000	市道除草業務委託
特林自治会活動補助金	100,000	市特林特別会計吉敷特別林野費
その他	1,130,000	緑化基金奨励金
繰入金	260,000	地区防災会無線設備
諸収入		
返戻金	541,751	前年度地域づくり協議会自主財源精算
雑収入	496	利息ほか
繰越金	902,753	前年度自治会繰越金
合 計	6,534,000	

吉敷自治会は、16の町内会・自治会で構成され、地域住民どうしで助け合って住みよい地域を築いていく大切な役割を担い活動している組織です。会費として一世帯600円を集め、様々な活動に取り組んでいます。

「吉敷自治会」

〈支出の部〉

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
事業費		
自治会活動費	645,000	町内会長会、子ども会活動支援ほか
地域づくり活動費	380,000	地域づくり協議会へ
広報活動費	170,000	広報委員会へ(自治会負担分)
消防費	1,307,000	市消防団吉敷分団後援
地域防災費	263,000	地区防災会無線設備
道路維持活動費	719,000	市道除草業務委託事業
吉敷3河川浄化事業	1,000,000	(新)吉敷3河川浄化事業
負担金	1,327,000	地域づくり協議会へ(事務費・人件費)
事務費	370,000	コピー代、事務用品、切手代ほか
繰出金	0	財政調整積立金
雑費	50,000	慶弔費ほか
予備費	303,000	
合 計	6,534,000	

情報交換の場として「町内会長会」を毎月開催
毎月第1木曜日に、地域住民の一番身近なコミュニティである町内会・自治会の会長が集まる「町内会長会」を開催しています。
地域交流センターからやまぐち車座トーク21などの行政情報も得ながら、地域の様々な情報の交換や共有の場となっています。また、地域課題の提議・解決のために、協議・検討も行っています。

令和2年度 町内会・自治会 会長名簿

町内会・自治会	会長名	摘 要
吉 敷 畑	増 本 満	
中 尾 西	中 原 裕 孝	
中尾東上	周 田 修	
中尾東下	中 村 公 一	
緑ヶ丘	吉本小百合	
赤 田	木 村 克 己	
佐 畑	浅 田 規 文	
中 村	岡 本 宣 幸	吉敷自治会会長

町内会・自治会	会長名	摘 要
木 崎	内 田 信 行	
木崎団地	藤 岡 清 貴	
上 東	守 永 修 平	吉敷自治会副会長
上東住宅団地	永 安 和 則	
下 東	内 田 秀 高	吉敷自治会会計
京面団地	中 原 隆	
大 橋 町	櫻 岡 茂 樹	吉敷自治会副会長
稲 葉 町	吉 川 忠 昭	

吉敷地域の振興のため
自治会活動の推進
安心・安全な地域づくりを進めるため、各町内会・自治会単位の「自主防災組織の立ち上げ」を推進しています。
また、地域を守る市消防団吉敷分団の後援活動や市道除草業務の受託、子ども会やスポーツなどの活動支援、河川美化と美しい景観づくりのため、水質浄化事業にも取り組んでいます。

令和2年度 地域づくり協議会事業計画・予算

〈収入の部〉

(単位：円)

項 目	予 算 額	内 訳
交付金	9,892,000	事業費へ4,767,000 人件費へ4,384,000 事務費へ741,000
補助金	30,000	ホタル増殖保護事業
繰入金	4,706,000	自治会 (事業費380,000 人件費777,000 事務費550,000) 地区社協 (事業費0 人件費2,719,000 事務費140,000) 地域交流センター運営協議会 (人件費0 事務費140,000)
雑収入	150,000	商工会協賛金 (まつり:40,000 ホタルの夕べ:10,000 環境づくり:10,000 カレンダー:90,000)
合 計	14,778,000	

〈支出の部〉

(単位：円)

項 目	予 算 額	内 訳
地域振興	150,000	ふれあいネットワーク
	750,000	よきフォトコンテスト
	250,000	人材発掘に向けた交流事業
	320,000	夏まつり
	470,000	ふるさとまつり
	100,000	コミュニティタクシー導入事業
	455,000	吉敷地区広報委員会へ
	183,000	吉敷地区人権学習推進協議会へ
	70,000	子どもドリームプロジェクト
	80,000	ホタル鑑賞の夕べ
地域福祉	30,000	動画による活動団体の紹介
	280,000	大運動会、多世代交流グラウンドゴルフ大会
安心・安全	100,000	えがお食堂よき
	150,000	吉敷地区防災会へ
	200,000	反射鏡・交通安全施設の充実
	255,000	交通安全・防犯対策協議会へ
環境づくり	224,000	青少年健全育成協議会へ
	150,000	ホタル増殖・放流事業
地域個性創出	350,000	環境づくり推進協議会へ
	760,000	文化振興協議会へ(凌雲寺跡活用検討含む)
協議会運営	1,571,000	事務費ほか
	7,880,000	事務局人件費(事務局員1名、事務局員4名)ほか
合 計	14,778,000	

「地域づくり協議会」

地域づくり協議会は、地域課題の解決のため、地域の皆さんや地域づくり関係団体とともに策定した第2次地域づくり計画「吉敷まちづくり計画」に基づき、各自治会・町内会を始めとした地域の団体が連携して、様々な行事などに積極的に取り組んでいます。市の地域づくり交付金を主な財源として活動しています。

コミュニティタクシーの実証運行に向けた運行計画の策定

高齢化の進展により、運転免許証返納の動きが加速される見込みから、自家用車に代わる移動手段として、コミュニティタクシーの導入の検討を進めます。本年度は令和3年度に予定している実証運行に向けて運行ルートや運行日、便数などを定めた運行計画の策定に取り組んでいます。

地域の歴史や文化を活用した個性あふれるまちづくりの促進

地域住民の吉敷の歴史や文化に対する関心や理解を深めるとともに、文化による交流の促進を図るため、歴史や文化を掘り起こし、様々な地域活動を通じて心豊かなまちづくりを推進します。本年度は、大内氏の海外通商ルートであった肥中街道の案内標識等の設置を行うとともに、凌雲寺跡の活用に取り組んでいます。

誰もが集える場の提供による交流と見守る関係づくりの促進

誰でも気軽に利用できる地域食堂の「えがお食堂よき」を開設し、子どもやひとり親世帯の親などが地域の人たちと知り合い、ともに支え合い心豊かに暮らせるまちづくりを推進します。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止が続いていますが、今後とも居心地の良い居場所づくりとして開催したいと思っています。

令和2年度 地区社会福祉協議会事業計画・予算

〈収入の部〉

(単位:円)

項 目	予算額	内 訳
住民会費	2,229,000	住民会費500×4458戸
市・市社協助成金	1,349,500	老人福祉行事
	1,764,280	地区社協活動費・事務費
	89,100	福祉員活動費
	2,581	見守り研修
	5,000	福祉の種まきリーディング事業
市社協委託金	125,400	小地区見守り活動
	390,720	ふれあい型給食
	5,000	地域福祉活動計画実行委員会
共同基金配分金	1,045,660	地域福祉活動費
寄付金	300,000	香典返し、寄付金
繰入金	1,432,000	事務費(もみじ学級・げんきやかた・ふれあい給食)
繰越金ほか	1,245,759	前年度繰越金、利息、返戻金
合 計	9,984,000	

〈支出の部〉

(単位:円)

項 目	予算額	内 訳
住民活動費	1,403,480	敬老会行事等町内会助成
	170,000	広報活動費
	80,000	サロンの運営支援
	197,000	多世代交流や福祉関係団体交流の促進
	311,000	地域福祉活動の促進、小地区見守り活動の推進
厚生保護費	249,100	民生委員児童委員協議会、福祉員協議会助成
	360,000	福祉団体助成
	410,720	ふれあい型給食会活動費
諸費	60,000	弔電、挨拶状他
負担金	2,330,000	市社協会費、市社協バス負担金
事務費	300,000	会議費、事務用品他
雑費	20,000	慶弔費
繰出金	2,859,000	地域づくり協議会へ(人件費、事務費)
	0	財政調整積立金
予備費	1,233,700	
合 計	9,984,000	

「地区社会福祉協議会」

地区社協は、吉敷自治会をはじめ、民生委員児童委員協議会や福祉員協議会などの関係団体で構成され、様々な福祉活動を展開している団体です。

第3次地域福祉活動計画「吉敷まちづくり計画」に基づき、住民会費や共同基金配分金などを主な財源として活動しています。

交流でつながりともに支え合う 心豊かに暮らせるまち

今年度もオフィスボッチャを取り入れ、多世代交流事業を開催し、世代を超えた交流を促進していきます。

また、ふれあい・いきいきサロンとうしや地域内活動団体とうしなど、それぞれ活動する福祉関係団体の交流を促進し、より一層地域の「つながり」を深めていきます。

身近な地域での憩いの場 仲間づくりや生きがいづくり

吉敷地域では、地域の皆さんが身近な場所仲間づくりや生きがいづくりができるよう、全町内会へのサロンの設置を目指しています。

つどいの広場「楽楽」やサロンを支援していくとともに、放課後児童クラブや高齢者生きがいセンターを運営・管理していきます。

地区社協講演会



誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、講演会を開催しています。

オフィスボッチャ交流大会



オフィスボッチャを通じた世代間交流や地域内交流による、健康づくりと仲間づくりを行っています。

みんなで見守り支え合い 安心して暮らせるまちづくり

高齢者等が安心して暮らし続けるために、町内会長、民生委員、福祉員が中心となったグループにより、見守り訪問活動を継続して行っています。

また、ふれあい型給食会では、月1回、見守りが必要な高齢者へ手作りのお弁当も届けています。



コミュニティタクシー導入の アンケート調査を実施しました

高齢化の進展により、今後運転免許証の返納の動きが加速化することが見込まれており、自家用車に代わる移動手段の確保が重要な課題になっています。

このため、地域づくり協議会では、町内会・自治会と連携し、コミュニティタクシーの導入を検討しており、今年の3月にそのための基礎資料として住民のアンケート調査を行いました。

対象者は、来年度実証運行を予定している赤田、佐畑、木崎、中村、上東の70歳以上の方（1587人）とし、1044人の方から回答がありました。

運転免許証の所持と返納【表1】

吉敷は、鉄道の路線がなく、バスも運行の区間や便数に制約があり、移動の手段は自家用車が中心になっています。運転免許証の所持について伺ったところ、662人の方から所持しているという回答がありました。

また、運転免許証の返納について伺ったところ「既に返納している」という方が141人、「返納することを考えている」という方が80人、「今は考えていないが先の先考えたい」という方が441人おられました。

吉敷でも運転免許証の返納の動きが加速化することが見込まれます。

日常で移動する交通手段【表2】

日常での移動は、家族や友人が運転する自家用車（79人）を含めて666人の方が自家用車で移動しています。

次いでバスで移動している方が124人となり、タクシーで移動している方が57人となっています。

移動の時間帯は、午前中に移動しておられる方が多く、8時から12時までに移動している方が607人で、午後移動している方は220人となっています。

移動で困っていること【表3】

移動で困っていることとして「バスの便数が少ない」、「バス停まで遠い」ということが上げられていますが、コミュニティタクシーの巡回により、JRや防長バス、コミュニティバスの利用が円滑に行えるようになります。

また、困っていることとして、「タクシー代が嵩む」、「自家用車の運転に不安がある」ということが上げられていますが、コミュニティタクシーは、タクシーを安価に利用でき、しかも他の交通の妨げにならない道路は、自由乗降区間とすることができ、自家用車に近い利用ができます。

【表1】運転免許証の返納

返納している	考えている	この先考えたい	考えていない	未記入	合計
141	80	441	80	61	803

【表2】日常で移動する交通手段

自家用車	バス	タクシー	自転車・徒歩	未記入	合計
666	124	57	78	119	1044

*「自家用車」には、「バイク・原付」9人を含む

【表3】移動で困っている事

バスの便数が少ない	バス停まで遠い	タクシー代が嵩む	自家用車の運転が不安	その他・未記入	合計
346	199	185	101	213	1044

【表4】コミュニティタクシーの利用

利用する	条件次第で利用する	利用しない	未記入	合計
269	432	330	13	1044



コミュニティタクシーの利用【表4】

コミュニティタクシーの利用の意向を伺ったところ、「利用する」という方が269人、「運行日や便数、停留所の設置場所など条件次第で利用する」という方が432人おられ、「利用しない」という方は330人となっています。

今回の調査により、多くの方が日常生活における移動に不安を感じており、自家用車に代わる移動手段として、コミュニティタクシーに関心を持っていることが伺えました。

今後の取り組み

コミュニティタクシーの運行経費の7割は市から補助されますが、3割は導入する地域が運賃収入などにより負担することになっています。

従って、導入に当たっては、利用のニーズを把握しておく必要であり、そのための制度として市の負担による一年間の実証運行があります。

吉敷では、来年度、赤田、佐畑、木崎、中村、上東地区を巡回する実証運行を行い、導入の可否を判断することになります。

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

つどいの広場「楽楽楽」講座

「親子カフェ」

みんなで楽しく情報交換しませんか？初めての方も大歓迎です☆
お母さんとお子さんの飲み物、おやつを準備してお待ちしています。

※とき 6月26日(金) 10時00分～11時30分
※変更・中止の場合は、館内ポスター、ブログにてお知らせします。

※場所 吉敷つどいの広場 楽楽楽

※参加対象 未就園児を持つ親子10組

※参加費 100円／一組

※申込・問い合わせ つどいの広場「楽楽楽」
☎083-928-0035



過去の講座の様子

肺がん(結核)検診を延期します

新型コロナウイルス感染症の影響により「令和2年度がん検診等受診券」の送付が遅延し、6月1日から開始としていましたが検診(集団・個別検診)等を延期しています。

令和2年7月7日(火)、吉敷地域交流センターで開催予定としていた肺がん(結核)検診についても延期します。

今後の日程については決まり次第、市ウェブサイトでお知らせします。皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解を賜りますようお願いいたします。

※問い合わせ 市健康増進課
☎083-921-2666

地域交流センターからのお知らせ

吉敷地域交流センターでは、貸館や図書室の開放を5月18日から再開しています。感染症予防の基本である「3つの密(密閉・密集・密接)」を防ぐことに加え、利用前のせっけんによる手洗いや手指の消毒、十分な換気、発熱や風邪等の症状がある方は利用を控える等、感染予防を徹底しながらの利用にご協力ください。

介護予防に運動習慣／

体を動かして体力&免疫力アップ ～やまぐち元気アップ体操をやってみませんか～

番組の御案内です



新型コロナウイルス感染症の拡大等によって、外出の機会が減っている高齢者の方に向けて、「やまぐち元気アップ体操」の放送を毎日行います。自分らしい生活を継続していくために欠かせない、筋力や持久力の維持向上のため、ぜひご覧ください。

■放送期間 令和2年5月11日(月)～8月16日(日) 期間中、毎日放送します。

■放送時間	【5月】第4週 【6月】第1・3・5週 【7月】第1・3・5週 【8月】第1・3週	午前11時25分～11時40分
	【5月】第3・5週 【6月】第2・4週 【7月】第2・4週 【8月】第2週	午後3時45分～4時

※各時間帯について、山口市の放送がない週は、防府市制作の同様の番組放送があります。

■放送局 山口ケーブルテレビ

皆さんが元気になれる★番組のPOINT



外に出にくい今だからこそ、知っておきたい運動の効果が分かります！



体力&免疫力アップにつながる運動内容が分かります！



テレビを見ながら、筋力&持久力アップができる体操が手軽に行えます！

■お問い合わせ先 山口市高齢福祉課 TEL 083-934-2758 FAX 083-934-2647

レポート

地域の人々に見守られた もみじ学級の子もたち

もみじ学級とは、保護者の就労等により、放課後、留守家庭となる児童が過ごす学級のことです。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月7日から20日まで休校が再延長されたため、放課後児童クラブ（もみじ学級）の子もたちは、4月の休校に引き続き、一日をもみじ学級で過ごすことになりました。

もみじ学級は午後からの開級になっており、午前中の子もたちの居場所を確保するため、地区社会福祉協議会が地域の皆さんの協力を得て、もみじ学級に通級する子どもたちの見守り活動を行ないました。

ステイホームと言われる中、子どもたちは、我慢強くもみじ学級において地域の皆さんと勉強や遊びを通して交流し、楽しみながら、元気に過ごすことができました。

また、地域の皆さんも子どもたちと賑やかで楽しい日々を過ごしました。



よしきびと 今月の吉敷人 No. 107

はまべ たいち
濱邊 太智 くん(10か月)

赤ちゃん ※写真撮影時は6か月



いないいないばあ遊びが大好きで、声を出してよく笑うので周りも笑顔になります。最近は離乳食で色々な食材に挑戦中！いっぱい食べていっぱい遊んで元気に大きくなってね。

勝太さん、清奈さんの長男。上京在住。

よしきびと 今月の吉敷人 No. 108

さかもと ひろゆき
坂本 博幸 さん

西日本自動車共済協同組合代理所 代表



山口にはお隣の北九州市から前職の転職で住み移り33年の月日が経ちました。

中尾に家を建て移り住んだのがちょうど20年前、転職し自動車共済の仕事が始めたのもこの頃でした。子供二人は独立し巣立っていましたが、お世話になった吉敷地域にこれからいろいろと貢献していければと思います。

中尾東京在住。趣味はアマチュア無線と船釣り

リレーエッセイ 001

光成宣雄(風堂)さん(吉敷赤田)



「私でいいんでしょうか…?」

平成31年3月に、赤田神社宮司末田一志氏との打ち合わせ中に、私が発した言葉です。内容は、赤田神社参集館の玄関口に横2.4メートル高さ70センチメートルの屋号額を掲げるために、参集館の屋号「紡伎廻舎(つむぎのや)」と書いてほしいとの依頼であった。「山口市には、私より達筆な方がいますよ。」と一度はお断りをしたが、宮司末田一志氏は、「光成さんに揮毫をお願いしたい」と言われ、お引き受けをした。

「紡伎廻舎(つむぎのや)」由緒は、平成29年。赤田神社は御遷座千三百年の慶賀の節目を迎えた。人々が神に祈りを捧げ心の拠り所として、長く守り続けてきた証であり、参り集う人々の心が紡がれ幾百年、幾千年もの先へ連続と繋がりしていく大切な場所である。参集館が、いく末永くそうした象徴としてあり続けてほしい。その願いを籠めて、屋号を「紡伎廻舎(つむぎのや)」と命名した。 宮司末田一志敬白

なお、令和元年5月18日に斎行された赤田神社参集館竣工祭において、屋号額「紡伎廻舎(つむぎのや)」の除幕式が行われた。



屋号額と光成さん



1月	●あいさつの日	
2火		
3水		
4木	●町内会長会 18:30～	
5金		
6土		
7日		
8月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～	
9火		
10水		
11木	●広報委員会 17:00～	
12金		
13土		
14日		
15月		
16火		
17水		
18木		

19金		
20土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00	
21日		
22月	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00 ●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～	
23火		
24水		
25木		
26金	●楽楽楽「親子カフェ」 10:00～11:30	
27土		
28日		
29月		
30火		

7月のおもなイベント

- 8水 育児相談
- 16木 ふれあい給食
- 18土 えがお食堂よしき 11:30～13:00
- 19日 親睦ソフトボール大会



「どうせやるなら、楽しまなきゃ。」

コロナ対応のため行事もなくなり、出来た時間で過去の資料の整理をしていたら、子ども会を始めた頃に先輩の役員さんから、こう言って声をかけてもらったのを思い出しました。

未知の感染症への恐怖と自粛の聲が高まる中で、多くの施設が閉鎖となり、みんなで集まることもできなくなりました。子ども達との遊びや、お母さん、お父さん方との会話など、顔を合わせて話すこと・手をつなぐことの喜びが、いかに大切なものであったかを改めて実感し、遠慮していました。

そうだった！今できることを「楽しく」やろう。

まずは深呼吸して。「うーん」と声を出して背伸びして。顔を上げて、背筋を伸ばし、体をぐると回して周りを見渡して。

こんな時だからできることも、きつとあるはず。どうせなら「楽しみながら」、「今」できること、今しかできないことを一人一人がやっていきましょう。

広報委員 村上竜司



【発行・編集】

吉敷地区広報委員会 (〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

